北海道理学療法士会
道北支部NEWS

第144号

発行者：齊藤浩平
編集者：鈴木優太朗、谷口絵梨佳

本日の内容

○支部長新年挨拶
○新生涯学習システムについて

支部長新年挨拶

森山メモリアル病院
訪問リハビリテーション事業所
齊藤　浩平

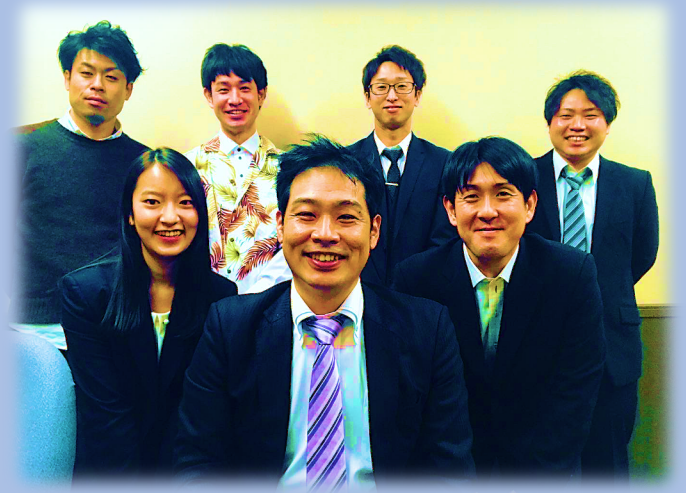
道北支部会員の皆様、改めましてあけましておめでとうございます。日頃より道北支部事業においてご理解・ご協力を頂き誠にありがとうございます。昨年もCOVID-19 の影響で、各々の現場では大変ご苦労されていたと思います。徹底した感染対策の中で臨床業務を行うことは通常とは違い、神経をすり減らしていたのではなでしょうか。また、普段の生活様式も大きく変わり、家族と旅行に行くことはおろか、仲間とお酒を飲みに行くことすら人目を気にするようになりました。平穏な日常を過ごせるよう、1日でも早い終息を願うところです。

道北支部としては、スポーツ支援や健康関連行事など、予定していた事業が軒並み中止となり、社会部・健康スポーツ部の活動が制限されておりました。そういった中、コンディショニングに関する動画をYouTubeで配信するなど新たな挑戦もしています。「中止」という一言で片づけられるのではなく「どのようにしたらできるのか？」部員が一丸となって創意工夫を凝らした結果が形となったと思います。一方で、学術活動はオンライン研修会が定着され、地方での学術大会も容易に参加できるなどプラスの面も多くありました。

ただ、パソコン上の講習会ばかり参加していると、やや飽きてきているのも事実で、仲間と直接会えない寂しさもあり、人肌恋しく感じているのは私だけではないと思います。今年の6月には千葉大会長のもと第73回北海道理学療法士学術大会が旭川で開催されます。感染状況にもよりますが対面開催に向けて鋭意準備中ですので、たくさんのご参加をお待ちしております。

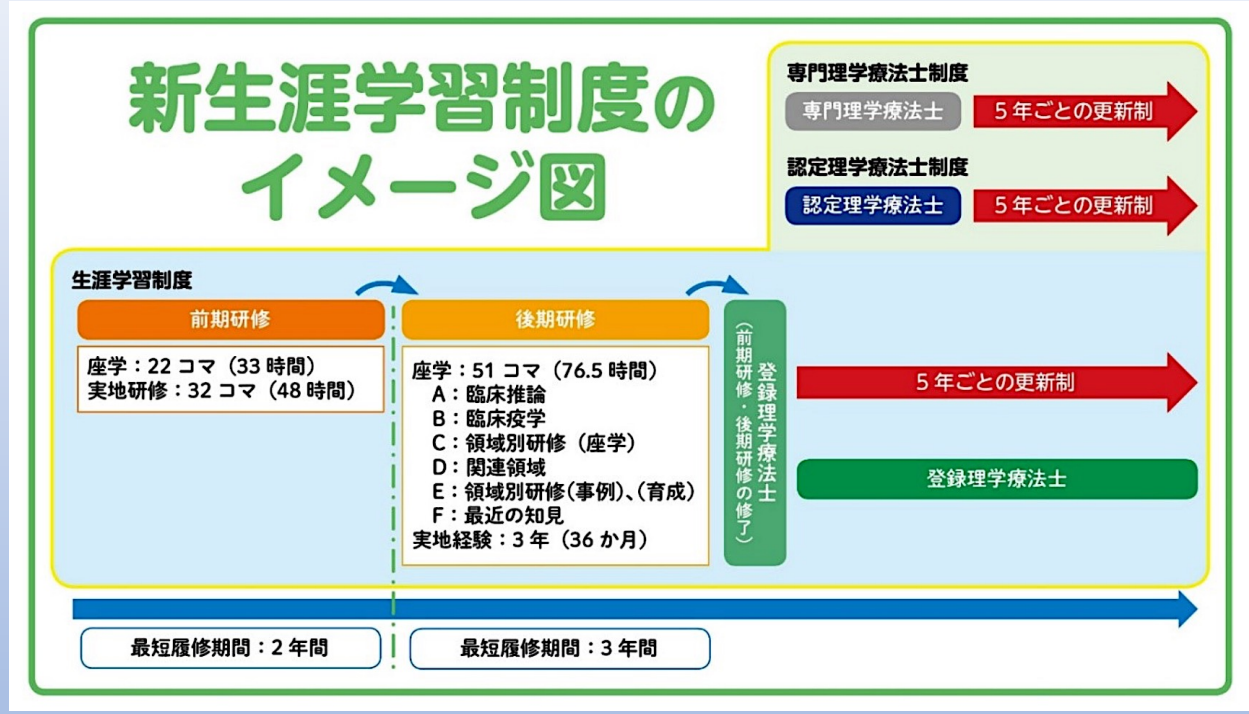
また、来年度は、我々理学療法士の卒後教育に関して、大きな変革の年でもあります。日本理学療法士協会の「新生涯学習システム」が開始され、登録理学療法士を取得するためには、一定の研修受講や5年ごとの更新が必要となります。国民に対して「多様化するニーズにお応えするため」また「理学療法士という専門職の質を保証するため」、この制度を発足させた経緯があります。このコロナ禍だからこそ我々の学びを新たな段階に進めていくことは大変重要と感じております。

最後になりますが、私自身、支部長に就任してから日も浅く不慣れな仕事の数々に戸惑い、「支部会員のために」となかなか頭が回らない現状にあり反省するところです。今後は多くの方々にご意見を頂戴し、何とかこの支部を盛り上げていきたいと心より願っております。どうかご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



（第2回道北支部学術研修大会役員）

新生涯学習制度について



1.日本理学療法士入会後、前期・後期研修を履修することで「登録理学療法士」となる
2.「登録理学療法士」は5年ごとの更新を目安に自己研鑽
3.より高い専門性を兼ね備える「認定理学療法士」「専門理学療法士」を目指していく

2022年4月より運用開始！

（日本理学療法士協会HPより）

道北支部掲示板

第73回　北海道理学療法士学術大会

大会長　千葉　恒（介護老人保健施設ふらの）

主催　公益社団法人　北海道理学療法士会
担当　道北支部

日時　2022年6月25日（土）
26日（日）

演題募集中！

道北支部 Instagram

道北支部 Face book

こちらもご確認ください

編集後記

新年明けましておめでとうございます。年明け早々、COVID-19感染再拡大の様相を呈しています。全道的に感染者の増加が見られ、道北支部の皆様におかれましても日々厳しい状況での診療を強いられているかと存じます。今年は旭川での学会も控えておりますが、果たしてどの程度皆様と直接顔を合わせられるか、今後の動向を見守るしかない状況です。今年も対面事業が少ないことが予想されますが、皆様に少しでも有益な情報やきっかけをお届けできるよう、支部NEWSの発行を続けさせていただきますので、今年もよろしくお願い致します。

広報責任者　鈴木優太朗